

銅・アルミ

市況見通し

3月

銅

ナスとなった。ただ、トだった。

1月の伸銅品生産急速に小さくなってき

銅スクラップ景況予想

1月の伸銅品生産急速に小さくなってき(速報値)は、前年同月比で4・0%減の5万830ト。前年同月比で25カ月連続のマイ

2月の電気銅建値は、1月の銅電線出荷量(推定値)は同月初に130万円。上旬にやや軟化したものの、中旬には131万円を付けるなど高値安

トだった。

伸銅品の生産量は25カ月連続で減少している。例年であれば旧正月前に中国向けに需要が増加傾向となるが、今年はその傾向が見えない。

1月のアルミニウム二次合金・同合金地金生産は同0・9%増の5万4193ト(2カ月の連続のプラス)。出荷は同0・3%減の5万3314ト(1カ月ぶりのマイナス)だった。

輸出は、電気銅が同19・8%増だった。

銅輸出は、電気銅が同31・1%増の5万8092ト、銅スクラップが同65・3%増の2万5632ト。

銅輸入は、電気銅が同358%増の596ト、銅スクラップが同30・7%減の8200

トだった。



橋本 健一郎氏

橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート

3月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	8000~8500ドル	横ばい
電気銅建値	120~132万円	横ばい
為替(1ドル)	145~150円 (1カ月間TTM)	レンジ内

定傾向だった。流通が発表された。これら(一次問屋)における2月の在庫は、伸銅品の生産減・発生減により品薄となった。需要面は低位安定。

生産量は板類が同微減の7万1592ト、340ト、アルミニウム二次合金が同4・5%減の791ト、アルミニウムスクラップが同30・9%増の2万3499ト、アルミ缶が同35・7%増の5058ト。

自動車関連で需要回復が見られるものの、伸銅品の生産量は25カ月連続で減少している。

1月のアルミニウム二次合金・同合金地金生産は同0・9%増の5万4193ト(2カ月の連続のプラス)。出荷は同0・3%減の5万3314ト(1カ月ぶりのマイナス)だった。

輸出は、電気銅が同19・8%増だった。

輸出はアルミニウム二次合金スクラップが同8・9%減の8263トだった。

銅輸出は、電気銅が同31・1%増の5万8092ト、銅スクラップが同65・3%増の2万5632ト。

銅輸入は、電気銅が同358%増の596ト、銅スクラップが同30・7%減の8200トだった。

LME銅・為替予想

今月は「米・FRB(連邦準備制度理事会)の金融政策」「中国・全人代の内容」に左右される。「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

「米・FRBの金融政策」では、最新の指標が根強いインフレ圧力を示す中で、パウエル議長は利下げを急いでいないとのメッセージを改めて強調。加えて2月には、インフレ加速を示す一連の指標

1月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同3・5%減の11万7567ト。

アルミ

3月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2100~2200ドル (現物後場買い)	横ばい
スクラップ	プラス5~10円 (前月最終価格より)	横ばい

アルミスクラップ景況予想

LME価格は2100ドルから2200ドル台へと安定傾向だった。ダイハツ・トヨタ問題で売れず、流通(一次問屋)の在庫は多い。需要面は、ダイハツ・トヨタ問題や、中国の景気後退から需給が緩んでいる。